

単一施設 2, 222 例で見た RARP 後 PSA 再発の自然史と生物学的二相性の発見

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

当院で行われた前立腺がんの手術（ロボット支援前立腺全摘除術：RARP）後に、血液検査で再発の指標となる PSA が再び上昇することがあります。本研究では、その再発が早く起こる場合と時間がたってから起こる場合で違いがあるのかに注目しています。特に、この 2 通りの再発形式には再発経路が異なるかどうかについて探求することを目的としています。

診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2010 年 1 月から 2026 年 5 月までの期間に、済生会熊本病院においてロボット支援前立腺全摘除術（RARP）を施行された患者さんを対象としています。なお、本研究では特別な除外基準は設けておらず、上記期間中に手術を受けた患者さんが対象となります。

使用する試料・情報

年齢、術前 PSA 値、病理所見（被膜外進展、精嚢浸潤、外科的断端など）、PSA 再発の有無および再発時期、PSA doubling time (PSADT)、PSA nadir 到達時間、術後経過（追跡期間など）

使用開始予定日：2026 年 7 月 21 日

研究予定期間

2026 年 7 月 21 日～2026 年 12 月 31 日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

〔研究の情報管理責任者〕 泌尿器科 元島 崇信

〔当院の個人情報管理責任者〕 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 泌尿器科 元島 崇信

住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)